

# 増田かおる



議会レポート Vol.32

2023年8月9日 発行人 増田薫

〒271-0096 松戸市下矢切 89-4 Tel/Fax 047-361-2103

<http://www.masuda-kaoru.net/> →

[matsudoshi.masuda.kaoru@gmail.com](mailto:matsudoshi.masuda.kaoru@gmail.com)



関東では今年の梅雨も”空梅雨”でした。一方で九州地方や東北地方では連日滴のような雨が降り、今年も大きな被害が…。気候危機の影響が年々ひどくなっています。子ども達や若い人達の未来に、より良い環境を残すために、自治体から取り組めることもたくさんあります。緑の保全もその重要な政策の一つです。

## 5月臨時会

## どうする 松戸市庁舎建て替え！

**市庁舎の移転を決めずに  
移転候補地 30.2 億円で購入？ 否決！  
あり得ません。**

5月24日、松戸市議会臨時議会が開会されました。相模台の国有地 8,745 ㎡を 30.2 億円で購入する議案が「庁舎整備に関する特別委員会」に付託、26日に本会議で採決され、反対多数で否決となりました。本郷谷市長は本会議終了後の記者会見で「議会の意向を確認し、用途について国と意見交換していく」と述べ、複合施設の可能性を探りながら、土地取得議案を再提案する考えを示した、と報道されています。

| 賛成 YES           | 反対 NO  |
|------------------|--|
| 公明党 10 名、無所属 3 名 | 市民クラブ 12 名、はじめの会 5 名、共産党 4 名、政策実現フォーラム 4 名(増田所属)、立憲民主党 3 名、無所属 2 名 |



## 増田かおるからのひとこと

今回、自民党系の会派が何日も会議を重ねて「否決」の判断を下しました。土地を買うことには賛成だが「市庁舎移転を前提に」購入することは承認できないと判断したものとされます。

市庁舎を一刻も早く建て替えるべきだ、との思いはどの議員も同じです。が、2013年(H25)には現地建て替え案の報告書を、市はほとんど無視し「移転が最適だ」と言い出しました。また、議会説明の比較資料には、右の表のように書かれていますが、中立公正な比較になっているのか疑問で、専門家に意見を聞きたいです。

## 反対の主な理由



### ① 議案提案の順序が違う！

市役所の住所移転には特別議案＝議会の出席議員の、3分の2以上の同意、が必要で、市役所を移転する場合、この議案を先に可決するのが一般的です。市は議会に諮るべきです。

### ② 土地が狭い！

現市庁舎の敷地 15,158 ㎡に対し、移転候補地は 8,745 ㎡です。容積率が 400%なので、基本的には最大約 35,000 ㎡の建物(延床面積)までの建物しか建てられませんが、市庁舎の規模は 37,000~41,000 ㎡で検討されています。建物は建つのでしょうか？

### ③ 立地の問題！

候補地は崖の上であり「土砂災害警戒区域」に接しています。また、道路が一部しか接しておらず、災害時の懸念があります。特別委員会では、歩行者のアクセスや渋滞予測など、多くの問題が指摘されました。

|    | 現地で本館・新館のみ建て替え | 現地で全部建て替え  | 移転                             |
|----|----------------|------------|--------------------------------|
| 期間 | 約 12.5 年       | 約 13 年     | 約 8 年                          |
| 費用 | 約 67.4 億円      | 約 275.3 億円 | 約 256.4 億円<br>(現地売却 35 億円を見込む) |

昨年6月の市長選挙で当選した際に本郷谷市長が掲げた政策には「市役所移転」に全く触れていませんでしたが、不誠実だと思えます。

市長の間違った市政運営を正すため、より多くの議員と協力していきたく思います。

